

平成30年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査における

北九州市立 曾根東 小学校の結果分析と今後の取組について

スポーツ庁による「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」について、平成30年6～7月に、5年生を対象として、「体力・運動能力」と「運動習慣等」についての調査を実施いたしました。

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。

本結果は、学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にしていただきたいと思います。また、運動習慣については、学校のみでなく、家庭で運動を一緒に「する・みる・話す」ことが大切です。本校では、運動習慣の確立と授業の充実により、総合的に体力の向上を目指しています。ご家庭でも運動習慣の確立に向けた取組の充実をお願いします。

※本調査により測定できるのは、体力・運動能力の特定の一部です。

1. 調査の目的

- (1) 子どもの体力等の状況に鑑み、国が全国的な子どもの体力の状況把握・分析することにより、子どもの体力の向上に係る施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 各教育委員会、各公立学校が全国的な状況との関係において自らの子どもの体力の向上に係る施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、子どもの体力の向上に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- (3) 各公立学校が各児童の体力や運動習慣、生活習慣等を把握し、学校における体育・健康に関する指導などの改善に役立てる。

2. 調査内容

(1) 実技に関する調査

[8種目] 握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、20mシャトルラン、50m走、立ち幅とび、ソフトボール投げ

(2) 質問紙調査

運動習慣、生活習慣等に関する質問紙調査

3. 体力・運動能力に関する調査結果の概要

全国・本市・本校の実技調査の結果

<男子>

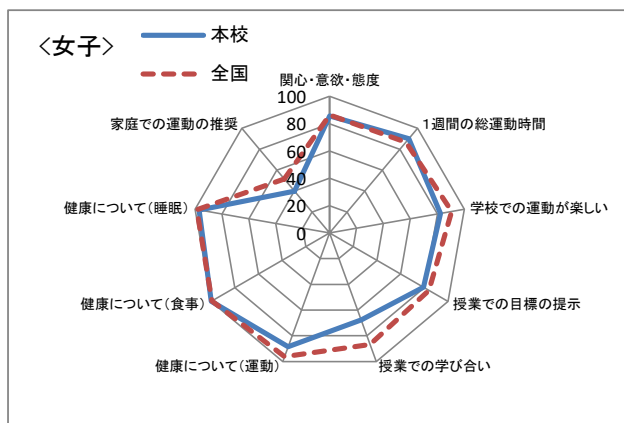
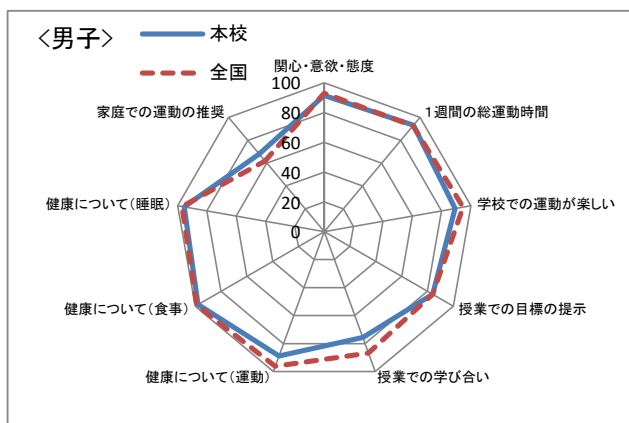
本年度の結果	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール投げ	体力合計点
全国	16.54	19.95	33.31	42.10	52.15	9.37	152.24	22.15	54.21
本市	16.69	20.49	33.79	42.59	55.22	9.38	154.29	23.74	55.23
本校全国平均以上の種目	○				○			○	

<女子>

本年度の結果	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール投げ	体力合計点
全国	16.15	18.96	37.62	40.32	41.88	9.60	145.94	13.77	55.90
本市	16.24	19.41	37.96	40.62	44.39	9.61	147.43	13.93	56.64
本校全国平均以上の種目	○								

4. 運動習慣や生活習慣等に関する質問紙調査結果の概要

質問紙調査レーダーチャート



質問紙調査の結果分析

○健康のための「睡眠・食事」の大切さに気付いている児童は多い。しかし、「運動」を大切に答えている児童は、男女とも全国平均を下回っている。また、「学校での運動が楽しい」と答えている児童も全国平均を下回っている。運動をする楽しさに気づかせ、運動に進んで取り組む態度を育てる必要がある。

○体育科の授業の中で、児童一人一人に目標をもたせたり、話し合う活動を多く取り入れたりすることが課題である。

5. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

① 教科(授業)に関する取組(全校で・学年で・学級で)

○全体及び個々の目標設定を行い、授業展開する(めあて・まとめ・ふりかえりカードの提示)。また、ホワイトボードをグループ毎に活用し、話し合い活動を取り入れた授業を行う。○体力アップのため、毎時間の授業の中でのジャンプアップ運動及びバービー運動に加え、学習内容に応じた別の体力向上プログラムに取り組む。○体力テストの結果を毎年記録し、前学年との比較で個々の伸びを自覚できるようにする。

② 運動習慣等に関する取組(1校1取組)

○毎週水曜日の中休み15分間に、全校児童で取り組んでいる「元気はつらつタイム」のメニューとして行ってきたキッズダンス及び持久走に加え、体幹を鍛えるための短縄にも年間を通して取り組む。

○「体力アップシート」の記入を行い、学期末に家庭に持ち帰らせ運動習慣の家庭への啓発を行う。